

農業という仕事を始めて7年がたちました。子どもの頃に手伝っていたこともあり、すぐにできるだろうと簡単に考えていましたが、少し甘かったです。

両親に教えてもらいながらのスタートです。まずは父が力を入れていたトマト栽培から始めましたが、僕自身トマトを食べるのが苦手だったので、あまり力も入らずやっています。

ある日知り合いの人に「よそのトマト食べてみて」と言われ、食べてみると僕が栽培している品種と同じなのに味が違って正直驚きました。前述のとおり、僕はトマトが苦手で、食べ比べということはしていません。

作り手によって味が変わるなら「やっぱり力入れなあかん」とギアを入れ直し、父から教えてもらった所を残しながらいろんな人達の話しや視察も重ねて、今では自慢になります。おいしいトマトが作れるよ



農業  
実際にいいさんやおばあさんがお孫さんを連れて、笑顔でイチゴ狩りを楽しんでいる様子を見ていると、「やってよかったな」と思いを深めました。  
これからも安心安全が一番に考え、皆さんに「おいしい」と言ってもらえるように努力していきたいと思っています。



うになりました。  
トマトの勉強も落ち着いた4年ぐらい前からイチゴの栽培も始めました。イチゴ狩りができる所が町内には少なかったのですが子ども達や車椅子の人でもイチゴ狩りが楽しめる高設栽培の施設を作ることになりました。

※「瞬」の掲載希望者を随時募集中。詳細は町ホームページの募集情報を参照してください。

～猪名川町観光ボランティアガイドのご案内～  
**私のオススメ★**

戦国時代悲劇のヒロイン佐保姫

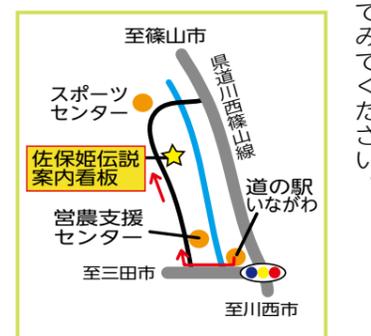


今回は戦国の「ヒロイン佐保姫」についてご案内します。  
町内万善地区には「佐保姫」という地名が残っています。  
安土桃山時代の頃(今から約400年前)、近江の国の坂本城主明智光秀に、佐保姫という娘がおりました。姫は、2歳のときに母と死に別れ、後添えの母とは折り合いが悪かったため、光秀は母と娘を別々に住ま



わせるように考えていました。そのことを、昔からの友人で、丹波八上城(篠山市)城主波多野秀治に相談しました。  
秀治は「猪名川上流の楊津郷に、とても良い場所がある。そこに、しばらく佐保姫を住ませてみてはどうか」とすすめ、佐保姫は祖母と一緒に、楊津郷に移り住みました。  
そこで、佐保姫は、波多野秀治の息子の貞行と出会い、二人は恋に落ち、将来結婚の約束を交わしたのです。  
幸せで穏やかな日々でしたが、その頃、天下統一を目指した織田信長は、家来の明智光秀に丹波の八上城を攻撃するよう命じました。  
しかし光秀は旧交の深い秀治に、またそこには佐保姫の許嫁の貞行がいる八上城をとつてい攻めのぼることなどできず、旧領はそのままとするので信長に従うようにとすすめます。  
そして、いぶかる秀治らを駕籠へ押し込み安土へ連れ去りますが、信長との交渉の末、その場で秀治たちは斬り捨てられてしまいました。  
父を討たれた貞行は、人質にして光秀の母を斬り、

獅々奮迅の働きをしましたが、すでに城主を失った八上城も落ちてしまいました。  
その中で、貞行は信長を滅ぼし、父の怨みを果たすまで生きると決心し、三蔵山までたどりつき、自分のもどろり(※頭髪を束ねたもの)を切つて佐保姫に渡し、最後の別れを告げ出かけていきました。  
佐保姫は、祖母との暮らしや、貞行との結婚の約束も無残と消え、辛い思いを断ち切るかの如く、目の前を流れる猪名川に身を投じました。戦国の乱世に巻き込まれ、自分ではどうすることもできない運命にさらされた佐保姫のものがたりです。  
道の駅いながわ対岸の歴史街道に佐保姫が身を投じたことされる「姫ヶ淵」があります。歴史街道を散策される時に立ち寄ってみてください。



▶町観光ボランティアガイドの申込・問合せ 産業観光課 ☎ 766 - 8709

道の駅 いながわだより

今月のピックアップ野菜  
ブロッコリー (道の駅での入荷時期 11月～6月頃)  
ブロッコリーはキャベツの仲間、栄養が豊富でクセがなく食べやすい野菜です。  
彩りがよく、シチューやグラタン、サラダ、炒め物など色々な料理に使えます。茎の部分にも栄養があるので、細切りにしてきんぴらなどにすると残さずおいしく食べることができます。花蕾と呼ばれるつぼみの集まりなので、あまり



日持ちはしません。すぐに黄色くなってしまうので早めに使い切ってしまうか、サッと湯がいて冷凍するとよいでしょう。

4月の主な出荷野菜 生しいたけ・ほうれん草・ネギ・小松菜・いちご・菜の花・たけのこ・わらび・のらぼう菜 など

◀4月のイベント▶  
◆道の駅いながわ春まつり  
4月12・13日(土・日) 午前10時～午後3時  
十割そばの手打ち実演・販売、新鮮海産物販売、合鴨の串焼き、イナウィンズ演奏(13日のみ) など

▶問合せ 道の駅いながわ ☎ 767 - 8600

五年 満岡 菜広  
**成長**

◀5年生最後に書いた「成長」成長を感じさせる筆遣いです。  
満岡 菜広さん(5年時の作品)



猪名川小学校  
◀大好きな学校の板の木。ぼくは、リラックサして空を見ている。  
廣田 耕さん(4年時の作品)

三年 岡田 健志  
**水**

▶顔の角度や口など描くのも難しい部分が多い中、表情が豊かに表現できている作品です。  
水尾 光貴さん(6年時の作品)



子ども作品コーナー